

## 平成 28 年度 5 回沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨

日 時：平成 29 年 2 月 14 日（火）15:00～17:00

場 所：琉球大学医学部附属病院がんセンター

出席者：10 名

安里邦子（中部徳洲会病院）、嘉手苺林俊（県立中部病院）、仲嶺八紀（県立中部病院）、平安政子（那覇市立病院）、金城香澄（県立八重山病院）、戸倉さおり（県立宮古病院・スカイプ）、増田昌人 {琉球大学医学部附属病院がんセンター（以下がんセンター）}、高橋ユカ（がんセンター、陪席）、知念恵実（がんセンター、陪席）

欠席者：2 名

大城裕子（沖縄県衛生環境研究所）、宮里貴子（北部地区医師会病院）

## 【報 告】

## 1. 平成 28 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨（資料 1）

平成 28 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨が承認された。

## 2. 地域がん登録遡り調査について（資料 2）

沖縄県衛生環境研究所の大城裕子より、会議欠席のためメールにて以下のとおり報告があった。

地域がん遡り調査は、今回が初めての実施であったが、締め切り前に全ての帳票が回収できた。2013 年確定は 2 月末で変更はないとのこと。

## (1)2015 年症例の届出について

2015 年症例は 10 月頃を締め切り予定としており、国都合で早まる可能性があるとのこと。

## (2)2016 年症例のオンライン届出について

オンラインは 4 月以降稼働の予定について変更連絡はなし。

稼働に先立ち、登録医療機関に ID の配布などが予定されている。

## (3)沖縄県環境衛生研究所移転について

各登録医療機関へ通知済みであるが、新住所に変更を。

2 月 17 日が移転日、その周辺日付では電話・レターパックの受付対応不可。

システム再立ち上げ確認後の 23 日を再開予定としている。

〈新住所〉沖縄県衛生環境研究所

〒904-2241 沖縄県うるま市兼箇段 17 番地 1

## 3. 2014 年院内がん登録集計報告書について（資料 3）

今年度発行の院内がん登録集計報告書についての報告がなされた。

口腔・咽頭、胆のう・胆管、皮膚を追加し、合計 13 部位を詳細集計した。また、拠点 3 施設の 5 年相対生存率を施設別、部位別、ステージ別に集計し掲載したと高橋委員から報告があった。報告書は 2 月末発行。順次、参加施設に配布するとのことであった。

## 4. 平成 28 年度第 1 回がん登録研修会について（資料 4）

増田委員より研修会開催案内があった。研修内容は、2016 年診断症例から変更となった新標準登録様式と多重がんルールについて、江森佳子先生を講師としてお迎えし、2017 年 3 月 4 日琉大病院にて開催予定である。

5. 平成 29 年度がん登録部会長・副部会長について

平成 29 年度がん登録部会部会長・副部会長の選任について提案がなされ、部会長に仲本部会長の育休代替となる高橋委員、副部会長に平安委員が就任することとなり、部会委員から承認が得られた。

6. QI 研究について(資料 5)

(1)DPC-QI の 2013 年症例子宮頸癌の未実施理由の入力締め切りが 2 月 28 日までになっていると情報提供があった。

(2)今年度は 2013 年症例のてまひま QI の提出を行い、データ集計待ちである。来年度は 2015 年症例の提出になると増田委員から報告があった。

(3)「がん診療の質指標の評価結果をフィードバックすることで診療の質が図れるか?」という、てまひま QI を活用した厚労科研の研究を計画している。集計は東先生が行う予定である。

(4)院内がん登録、DPC のデータベースを軸とした病理診断、放射線診断情報を突合して解析を行う研究が予定されている。院内がん登録、DPC と病理診断、放射線診断の診療データベースを突合することにより、均てん化の推進、希少がん対策における症例集積の困難さを補った症例情報の提供に寄与するとともに、教育の向上や効率化が期待される。初年度参加施設として琉球大学医学部附属病院、中部徳洲会病院を含む 5 施設が参加予定である。

7. その他

大腸がんプロジェクトがあるため、各拠点病院にデータ提供協力依頼をする可能性があるると増田委員から報告あった。

【議 題】

1. 平成 28 年度がん登録部会事業計画について (資料 6)

平成 28 年度がん登録部会事業計画について増田委員より説明があり、評価等について指摘事項があるか確認がなされた。

- ・「施策 4」はサイト公開予定のため、次回の部会まで評価保留とした。
- ・「施策 6」は、生死不明割合が悪かったものの、拠点 3 施設の生存率を算出することができたので、評価を 6 点から 7 点に変更した。
- ・「施策 7」の院内がん登録研修会を来る 3 月に開催するため 10 点に変更した。

2. 院内がん登録実施施設拡大について

沖縄県内にある医療保険計画にて選定された全 20 病院の院内がん登録実施施設の拡大を呼びかける。候補病院として沖縄県立北部病院、那覇西クリニック、宮良クリニック、マンマ家クリニック、那覇西クリニックまかびがあげられ、年度明けに院内がん登録実施について協力をお願いするため訪問する予定とした。

3. 日本がん登録協議会 第 26 回学術集会 in EHIME (資料 7)

増田委員より、日本がん登録協議会が今年 6 月に愛媛で開催される。第 26 回からは、新しい取り組みとして院内がん登録の演題も募集しているため、沖縄からは 5 演題出せるよう提案があり、それぞれ施設に持ち帰ることとなった。演題募集期間については、日程が決まり次第情報提供する予定である。

4. 第 43 回診療情報管理学会について

第 43 回診療情報管理学会が 9 月 21 日から 22 日までの 2 日間、北海道で開催され

る。演題は2月20日から4月21日まで募集予定であると増田委員より情報提供があった。

#### 5. 今年度の研修会について（資料8）

増田委員より資料9に基づき、今年度の研修会開催（案）について提案があった。研修内容は、第1候補が学会発表や院内発表におけるスライドの作成について（8月頃予定）について、第2候補が血液腫瘍の登録（11月頃予定）があがった。候補日を複数あげ、講師予定の先生に連絡することになった。

#### 6. 次回の開催日程について

次回開催日について、2017年5月9日（火）15：00開催で承認された。

#### 7. その他

- ・ 来年度の部会開催回数について年4回の開催が提案され、部会委員より承認された。開催日は2017年5月9日、8月8日、11月7日、2018年2月13日の全4回。

- ・ 各施設の「院内がん登録データ集計・分析研修」と「院内がん登録実務 Hos-canR Plus 利用研修」の情報提供と参加状況について（当日資料）

平安委員より、研修内容について情報提供があった。「院内がん登録データ集計・分析研修」は、拠点病院対象のため、今年度は那覇市立病院のみの参加であった。生存率集計研修会の目的を改めて確認する意味でも、院内がん登録データ集計・分析では生存率と生存率集計値へ影響を与える可能性のある要因や相対生存率を用いる際の注意点、病院での集計の目的と方法と院内がん登録の利用についてデータ活用概念の再確認を行ったとの報告があった。

## 平成29年度第1回沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨

日 時：平成29年5月9日（火）15：00～17：30

場 所：琉球大学医学部附属病院がんセンター

出席者：平安政子（那覇市立病院）、安慶名築（県立中部病院）、宮里貴子（北部地区医師会病院・Skype）、戸倉さおり（県立宮古病院・Skype）、本村太志（県立八重山病院・Skype）、安里邦子（中部徳洲会病院）、比知屋春奈（国立病院機構沖縄病院）、増田昌人（琉球大学医学部附属病院がんセンター、以下、琉大病院がんセンター）、高橋ユカ（琉大病院がんセンター） 合計9名

陪席者：仲嶺八紀（県立中部病院）、渡慶次優奈（県立八重山病院）、岡野保子（県立八重山病院）  
合計3名

欠席者：古謝由紀子（県衛生環境研究所）

### 【報 告】

#### 1. 平成29年度沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会委員について（資料1）

今年度より、県立中部病院は安慶名委員が就任、県立八重山病院は本村委員が就任、県環境衛生研究所は古謝委員が就任した。また、新たに国立病院機構沖縄病院にがん登録部会に加わっていただき、比知屋委員に就任していただいた。今年度の部会長は琉大病院がんセンターの高橋、副部会長に那覇市立病院の平安委員と県立宮古病院の戸倉委員が就任することが確認された。

#### 2. 平成28年度第5回沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨（資料2）

平成28年度第5回沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨の内容について確認、承認された。

#### 3. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会

平成28年度第1回がん登録部会議事要旨（資料3）

増田委員より、資料3に基づき、都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会で報告、検討事項について報告があった。年1回全国の都道府県拠点病院が一堂に会する協議会で、がん登録に関わる重要な話し合いが行われている。トピックスとして、報告⑥予後調査試験事業について、2016年症例以降は10年生存率も算出する方針となっている。また、報告⑦QI研究は、院内がん登録データとDPCデータをリンケージして、医療の質を測定する取り組みで、2012年症例と2013年症例を比較したところ、ほとんど変化のない結果であった。検討事項①全国集計の公表方法等について、論点1：集計値の公表について、患者会から10以下の実数の公表について、以前から要望があり、厚生労働省、関係諸機関との調整の上、公表する方向となっている。論点2：集計値をコピー&ペーストできるデータで提供することに合意となっている。論点4：希少がんデータベースの元データと用いられる全国集計値に、県推薦病院から集計費用を徴収することについて、費用負担を求めた場合、デ

一タ提出が減る恐れがある。希少がんについては、院内がん登録データでなければ、どの施設でどのがんを診ているかがわからない。今後、集計については、別途検討。検討事項②予後調査支援事業について、2011年から県推薦病院の参加も認める。検討事項③生存率集計の公表について、公表について個人情報保護法との調整もあり難航しているが、今後、疾患ごとにざっくりとしたものを公表する方向で進めいくとの報告があった。

4. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会

平成29年度第1回がん登録部会 開催について（資料4）

高橋より、資料4に基づき、都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 平成29年度第1回がん登録部会が6月16日に開催されるとの報告があった。内容や資料については、次のがん登録部会で報告するとの説明があった。

5. 日本がん登録協議会 第26会学術集会 in EHIME について（資料5）

高橋より、資料5に基づき、日本がん登録協議会第26会学術集会に、仲嶺委員が1演題、高橋が3演題の合計4演題を発表するとの報告があった。高橋が発表する演題の共同演者として、がん登録部会委員のみなさまに入っていただくことについて了承された。

6. 第43回日本診療情報管理学会について（資料6）

高橋より、資料6に基づき、第43回日本診療情報管理学会に、平安委員が1演題、仲嶺委員が1演題、高橋委員が2演題の合計4演題発表する予定であることが報告された。

7. 平成29年度第1回院内がん登録研修会開催について（資料7）

高橋より、資料7に基づき、平成29年度第1回院内がん登録研修会を講師（国立循環器病センター 中村文明先生）と日程を調整した結果、7月1日（土）に開催することが報告された。2年前に抄録の書き方についてご講義いただいたので、その復習を行った後、スライド作成についてご講義いただく内容で調整していると報告があった。

8. その他 特になし。

【議 題】

1. 平成28年度がん登録部会事業計画の評価について（資料8）

高橋より、資料8に基づき、平成28年度がん登録部会事業計画の評価について再度、評価点数の確認が行われた。評価点数に関する修正意見は聞かれなかったが、文言の間違いが発見され、修正したのち協議会に資料として提出することが承認された。

2. 平成29年度がん登録部会事業計画について（資料9）

高橋より、資料9に基づき、平成29年度がん登録部会事業計画について、現状を反映した施策やアウトプットの変更について提案がなされた。施策2のアウトプットについて、院内がん登録実施施設の拡大は、このあとの議題にもあがっているとおり、引き続き進めていく必要があるため、2017年3月までを2018年3月に引き延ばすことが承認された。施策7のアウトプットについて、研修会を年4回200名の実務者参加となっているが、マンパワーの部分で難しさがあることや、大規模の研修会ではなく小規模の勉強会開催の希

望も聞かれる。そのため、今年度は年2回開催し、200名以上の実務者が参加するに変更することが承認された。勉強会は、標準登録様式が新しくなったことにより、登録で悩む症例を持ち寄り、ディスカッション形式で行う方向となった。早速、7月に開催される研修会の午前の時間を使って、開催を検討することとなった。施策8について、院内がん登録を実施している施設は、全施設に院内がん登録実務初級者が誕生しているため、登録精度の向上と国がんの今後の動向を考慮し、院内がん登録実務中級者認定試験を受験できるよう、部会としてアクションを起こす施策に変更することが承認された。それに伴い、アウトプットを2019年3月までに、がん専門施設すべてで中級認定者が誕生するに変更することが承認された。施設10について、文言が統一されていないため、がん診療に統一することが承認された。他、変更、修正なしで、平成29年度がん登録部会事業計画が承認された。

3. 平成29年度国立がん研究センター主催の研修会について（資料10）

高橋より、資料10に基づき、今年度国がんで開催される研修会への参加状況について確認がなされた。県立八重山病院、北部地区医師会病院がそれぞれ「地域がん診療病院」に指定されたことから、要件として国がんの研修会を受講することは必須である。がん登録部会から施設長宛てに文章を出し、研修会に参加できるよう配慮することが、増田委員から提案された。初級者研修及び認定試験を県立八重山病院から3名受講すると、本村委員から報告があった。中級者研修及び認定試験を、宮里委員が受講するとの報告があった。中級認定者研修を、平安委員、安里委員、戸倉委員、比知屋委員、県立中部の仲嶺さん、高橋が受講するとの報告があった。中級認定者更新試験について、平安委員、安里委員が昨年度受験し、無事合格したとの報告があった。データ集計・分析研修については、昨年度平安委員が受講している。内容はピボットテーブルによる集計が中心であるため、それぞれの施設で受講を検討することとなった。

4. 日本がん登録協議会 第27回学術集会 in 沖縄 の開催について（当日資料1）

増田委員より、当日資料1に基づき、沖縄で開催する第27回学術集会について、大会長を増田委員が務めることとなっているため、学術集会の実行委員会をがん登録部会委員にお願いしたいとの依頼があり、委員全員から承諾された。詳細な予定等については、後日連絡となった。

5. てまひま QI に関する協力について（当日資料2）

増田委員より、当日資料2に基づき、引き続き2015年症例のてまひま QI の採録について、協力依頼があった。これまで協力してきた4施設（那覇市立、県立中部、中部徳洲会、琉大病院）から、採録協力とデータ提供について承諾された。他の施設にも協力いただきたいとのお願いがあり、今後検討することとなった。

6. 平成29年度がん政策研究事業「がん対策の進捗管理のための指標と測定の継続的な発展に向けた研究」（東班）への協力依頼について（当日資料3）

増田委員より、当日資料3に基づき、東班への協力依頼があった。今回、協力内容について具体的なものは示されなかったが、院内がん登録データを分析した指標作りも考えられ

るため、必要に応じて協力することが承認された。

7. 院内がん登録実施施設の拡大について（当日資料4）

増田委員より、当日資料4に基づき、院内がん登録実施施設の拡大について説明がなされた。現在、県立北部病院と婦人科がんを診ているクリニック4施設への訪問を検討しており、院内がん登録を導入する際は、施設を訪問しレクチャーを行う予定との報告があった。

8. 全国がん登録の届出に係るがん登録オンラインシステム利用手続きについて（資料11）

高橋より、資料11に基づき、これまで地域がん登録に紙で提出していたデータが、オンラインシステムになることと、その手続きが6月30日までであることが報告された。すでに、比知屋委員は手続きを終了しているとの報告があった。県立病院は、オンラインシステムのために、新たなネットワークを設置する必要がある、手続きできない状況であると報告があった。

9. 予演会の開催について

高橋より、日本がん登録協議会第26回学術集会と第43回日本診療情報管理学会の予演会を、それぞれ行うことが提案された。がん登録集会は5月末に、管理学会は8月の部会終了後に行うことが承認された。

10. 平成29年度がん登録部会 開催日程について（資料12）

高橋より、今年度のがん登録部会の開催日程について、資料12に基づいて説明がなされ、承認された。この開催日程は、後日、委嘱状とともに施設長宛てに郵送するとの報告があった。

11. 次回の開催日程について

次回開催日について、平成29年8月8日（火）15：00開催で承認された。

12. その他

標準登録様式が新しくなったことにより、登録に悩む症例がそれぞれの施設であることからディスカッションを行った。今後もこのような場が必要であり、部会内のみでなく、他の施設も悩んでいることが推測されるため、勉強会を年に数回開く必要があることが確認された。がん登録の精度向上のためにも、早急に対応を行うこととなった。

閉会